

祝 権兵衛トンネル貫通!!



木曾川右岸道路開通式

(上松町 小川橋)



権兵衛トンネルの貫通、木曾川右岸道路開通、汚泥集約センターの完成等で木曾郡がいままで取り組んできた事業が着々と進行し、皆さんのより住みやすい地域へと近づいています。

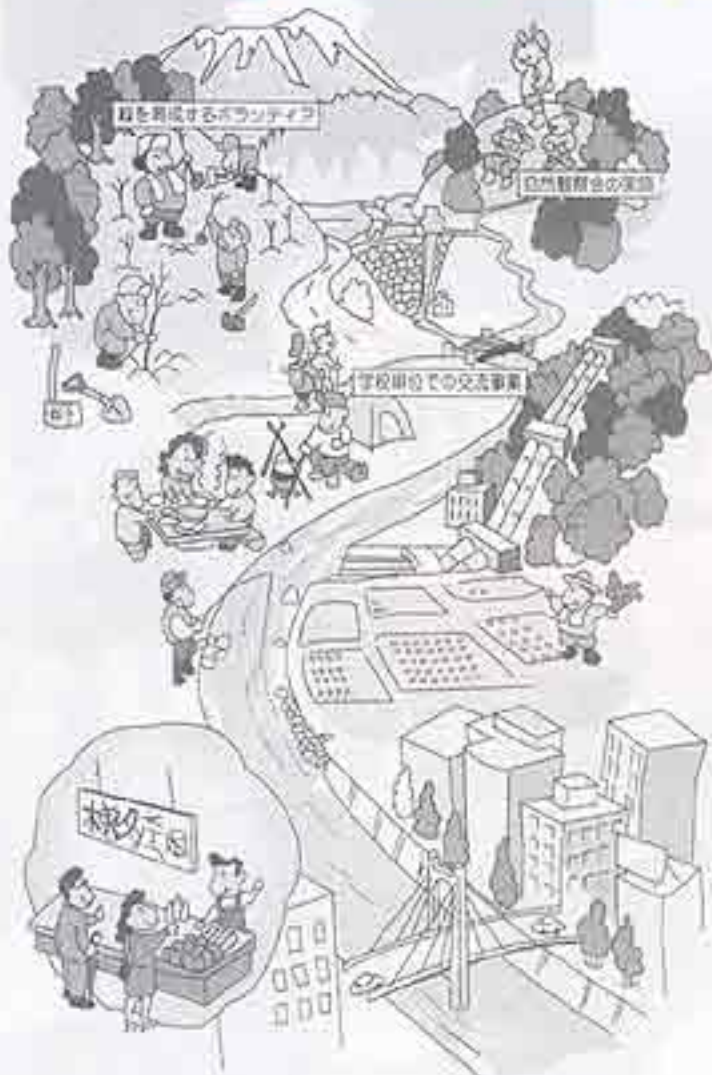
詳しい様子は広域からのお知らせ(7ページ)をご覧ください。

主な内容

- シリーズ水源の森を守ろう!
- 木曾広域介護保険情報
- スポーツ振興基金交付決定・高規格救急車を配置
- 広域からのお知らせ
- リサイクルに関する標語・提言決定



『水源の森』を守ろう！



木曾広域連合では、豊かな水を育む『水源の森』を守ろうと、木曾川を通じて交流を深めている下流域の皆さんと一緒に森林整備事業を進めていきます。

なぜ今、森林整備が必要か？
これからシリーズでお伝えします。

上下流交流事業のはじまり

木曾が目指すべき姿を提唱した「木曾地域振興構想」の一つに、「水と緑の交流構想」があります。私たちの生活に欠かすことのできない「水」は木曾にある豊かな森林によって守られています。この『水源の森』の大切さを上流・下流住民が一緒になって考えていこうと、『上下流交流事業』が始まりました。

現在、交流を深めている中で最も重要なパートナーが愛知中部水道企業団です。

愛知中部水道企業団は、愛知県の中部に位置する豊明市、日進市、東郷町、長久手町、三好町の管内住民約27万人に木曾川を水源としている愛知用水（右図参照）から水を供給しています。

木曾広域連合とは、平成12年8月に水源地域を守り育てようと『交流のきずな』を結び、毎年様々な交流が行われていきます。今年5月には、ひのき里親ボランティア植樹祭が開催され、下流域住民が自宅で大切に育てた木曾ヒノキの苗木を王滝村で植樹しました。また、下流域の2市3町では毎年秋に産業まつりが開催され、今年も木曾広域連合や友好関係



大切に育てたヒノキを『水源の森』へ植樹
(5/11 ひのき里親ボランティア植樹祭)



源流水や風船の配布、木曾の特産品が当たる抽選会などで盛り上がった産業まつり（11月 愛知中部水道企業団管内2市3町）

にある町村が参加し、秋晴れの中、木曾のPRを行いました。



『水源の森』整備スタートです!

平成15年2月、水づくりは森づくりという共通の基本理念のもと、上下流が共同して森林整備の促進を約束する『森林整備協定』を締結しました。

今後は、この『協定』に基づいて森林整備を中心とした森づくりがスタートすることになります。その活動は従来より始まっており、今後の更なる発展が期待されます。

平成13年6月、愛知中部水道企業団は森林整備に充てるための基金『水道水源環境保全基金』を創設しました。下流域住民の皆さんには、水道水1トンあたり1円を負担していただき、年間約3、000万円の基金積立を行っています。

また、先日の木曾広域連合11月定例議会において、『木曾森林保全基金』の設置条例が可決されました。各町村に年間水道使用量1トンあたり1円を負担していただき、年間約470万円を積み立てることで、上流域でも森林整備への取り組みがスタートしました。

上流、下流それぞれの基金を

どのように有効活用していくべきか、『水源の森』についての将来像を木曾広域連合、各町村の林務担当者を中心に検討・調整を進めています。

今後も、森林整備事業についての情報を皆さんにできるだけわかりやすくお伝えしていきます。毎日、なにげなく飲んでいる水と、その水源となる森林の大切さを改めて実感していただきたいと思います。

【森林整備に関するご意見を
お聞かせください】

◆ 木曾広域連合 広域振興課 ◆

〒399-6101

木曾郡 日義村 4898-37

TEL 0264-23-1050

FAX 0264-23-1052

E-mail sinko@kisoji.com

ぼくたち私たちの木曾川

CD-ROM差し上げます!



木曾広域連合では、木曾川の大切さをもっと知ってもらおうと小学生の皆さんを対象とした副読本CD-ROM(左)を作成しました。

木曾川とその周りに生息する生き物や、水の流れるしくみ、川を守るために必要なことなど、楽しみながら学ぶことができます。

このCD-ROMを無料で差し上げますので、ご家庭で、学校でぜひご活用ください。



シンボルキャラクター
『なかのりくん』

ぼくたち私たちの
すんでいるところには
木曾川がある



【申込み、問合せ先】

◆ 木曾広域連合 広域振興課 ◆

TEL 0264-23-1050



木曾広域介護保険情報

介護サービスに住宅改修費や福祉用具購入費を支給する制度があるのをご存知ですか？

(対象となる方は、介護保険の要支援・要介護認定を受けた方です)

◎ 住宅改修費

住宅改修費として20万円の限度額内で給付され、うち1割は自己負担額となります。**必ず着工前に介護支援専門員にご相談下さい。** 対象となる工事は、下記のとおりです。

①手すりの取付け	廊下、便所、浴室、玄関、玄関から道路までの通路等に設置するもの（転倒予防、移動・移乗動作に必要なもの）	
②段差の解消	居室、廊下、便所、浴室、玄関等の床の段差を解消するもの	
③滑りの防止及び移動の円滑化等のための床材の変更	畳敷から板製床材やビニール系床材等への変更 通路面の変更（滑りにくい舗装材への変更） スロープの設置等	
④引き戸等への扉の取替	扉全体の変更（開き戸を引き戸、折戸等へ取替える）、ドアノブの変更、戸車の設置	
⑤洋式便器等への取替	一般的には、和式便器から洋式便器への取替え。非水洗和式便器から水洗洋式便器に取替える場合、水洗化の工事の部分は除く	
⑥その他	①～⑤の改修に付帯して必要となる改修（壁の下地補強、根太の補強、床材変更のための路盤整備等）	

申請に必要なもの



- ◆住宅改修を必要とする理由書 住宅改修に関する承諾書
- ◆住宅改修費の領収書 工事費見積書
- ◆日付の入った改修前・改修後の写真、図面など
- ◆本人の印鑑 振込先の預金通帳番号

なお、新增築や下水道・水道工事に伴う工事については対象外です。



◎ 福祉用具購入費

福祉用具購入費として同一年度10万円の限度額内（原則は同一年度で1種目1回のみ）で給付され、うち1割は自己負担となります。購入の際には介護支援専門員に相談して下さい。対象となる用具は、下記のとおりです。

腰掛便座	<ul style="list-style-type: none"> ・和式便器の上において腰掛け式に変換するもの ・洋式便器の上において高さを補うもの ・電動式又はスプリング式で便座から立ち上がる際に補助できる機能を有しているもの・ポータブルトイレ（居室において利用可能であるもの） 	
特殊尿器	尿が自動的に吸引されるもので介護者が容易に使用できるもの	
入浴補助用具	入浴に際しての座位の保持、浴槽への出入り等の補助を目的とする用具で次のいずれかに該当するもの ・シャワーいす、浴槽内いす、手すり、すのこ、入浴台（浴槽の縁にかけて利用する台で、浴槽への出入りのためのもの）	
簡易浴槽	空気式又は折畳式等で容易に移動できるものであって、取水又は排水のために工事を伴わないもの	
移動用リフトのつり具の部分		

★介護サービスの給付は次のとおりです。

(単位:千円)

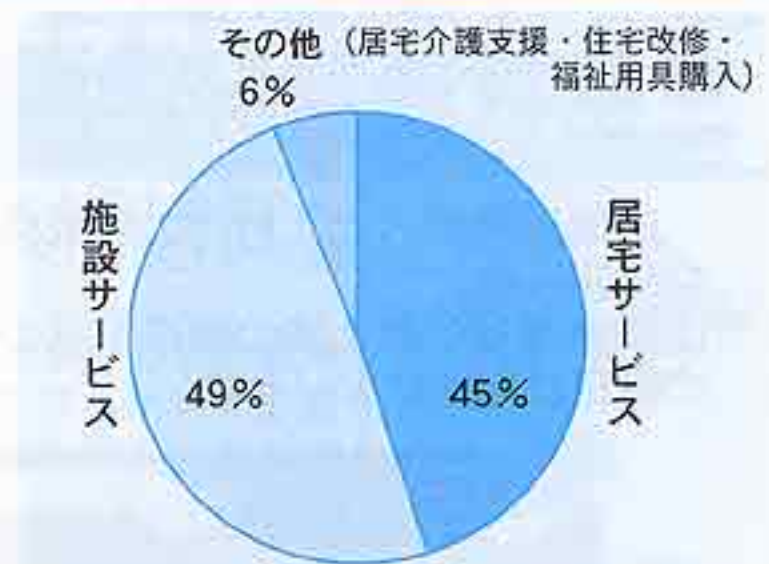
	居宅サービス	施設サービス	その他（居宅介護支援・住宅改修・福祉用具購入）	合計
H14.4月～11月	636,000	810,009	81,537	1,527,546
H15.4月～11月	754,142	808,945	97,376	1,660,463
伸び率（%）	118.6%	99.9%	119.4%	108.7%

居宅サービスの種類は、訪問介護・訪問入浴介護・訪問看護・訪問リハビリ・通所介護・通所リハビリ・ショートステイ等です。

施設サービスの種類は、介護福祉施設・介護老人保健施設・介護医療施設があります。

介護サービス給付費の伸び率は、長野県平均では108.6%となり、よって木曾郡内の伸び率とほぼ同率となり、広域計画とおりに運営されています。

右図は平成15年度（4～11月分）のサービス利用割合です。



★高齢化率と認定者数

日時	人口	65歳以上人口	高齢化率	認定者数	認定率
H14.10.1	41,305	12,488	30.2%	1,712	13.7%
H15.4.1	40,789	12,628	31.0%	1,742	13.8%
H15.10.1	40,814	12,667	31.0%	1,866	14.7%





スポーツ振興基金 交付決定のお知らせ



平成15年10月にスポーツ振興基金審査委員による厳正な審査が行われ、個人13名と、3団体16名の方々に振興基金65万5千円が交付されました。

この事業は少子化が進む現在、木曾における地域社会及び社会に有意な人材の育成を目的として、特にスポーツを通じて地域の活性化に寄与する個人及び団体を支援するために行うものです。

個人の部

(敬称略)

氏名	年齢	町村名	参加種目	大会名
大島 昌弘	17	楢川村	卓球	平成15年度全国高等学校総合体育大会
清水 裕子	17	大桑村	陸上	平成15年度全国高等学校総合体育大会
田中 恒太	17	上松町	サッカー	平成15年度全国高等学校総合体育大会
渡辺 裕介	7	木祖村	卓球	平成15年度全日本卓球選手権大会
清水 茜	8	木祖村	卓球	平成15年度全日本卓球選手権大会
勝野 真由美	17	南木曾町	バドミントン	平成15年度全国高等学校総合体育大会
上田 有香	16	南木曾町	バドミントン	平成15年度全国高等学校総合体育大会
北原 侑	17	南木曾町	相撲	平成15年度 秋季国体
鈴木 章広	17	木曾福島町	相撲	平成15年度 秋季国体
越 孝志	17	木曾福島町	相撲	平成15年度 秋季国体
針間 宣昭	18	木曾福島町	相撲	平成15年度 秋季国体
中田 明斗	17	木曾福島町	相撲	平成15年度 秋季国体
清水 裕子	17	大桑村	陸上	平成15年度 秋季国体

団体の部

参加チーム	参加人数	参加種目	大会名
木曾山林高校相撲部	7人	相撲	平成15年度全国高等学校総合体育大会
福島中学校	4人	相撲	第14回全国都道府県中学生相撲選手権
福島中学校	5人	相撲	平成14年度全国中学校相撲選手権大会

詳しい応募方法は、下記のホームページにてご確認ください。

ホームページ <http://www.kisoji.com/kisokoiki>

木曾広域連合広域振興課 スポーツ振興基金 TEL: 0264-23-1050

三岳村救急分遣所に高規格救急車を配置

広域消防管内で4台目の高規格救急車が配置され全ての署所に配置完了となりました。

山間地が多く地上波の携帯電話の不感地域においても衛星電話で医療機関との連絡が可能になります。



広域からののお知らせ

第2回木曾広域計画 策定委員会開催

10月28日に木曾文化公園にて第2回木曾広域計画策定委員会が行われました。

策定委員会の内容は事務局から提出された、「広域的な計画及び情報化対応について」「環境関係について」「文化・スポーツについて」「その他」の6項目について、策定委員からの意見をいただきながら計画の策定が進められました。

今後は、今回提出された施策から、広域計画案が作成される予定となっています。

第4回広域連合 定例議会開催

定例議会開催

11月28日に行われた第4回定例議会では木曾森林保全基金条例の制定や平成15年度的一般会計補正予算・木曾寮・介護保険特別会計補正予算について議決されました。

また本会議終了後には全員協議会が開催され広域計画の策定、市町村合併、平成16・17年度介

護保険料、L G W A N の整備についてそれぞれ協議が行われました。

木曾川右岸道路 (上松町小川橋〜登玉区間) の開通式が行われました

12月18日に開通式が上松町正島小川橋手前で行われ、テープカットや上松小学校金管バンドによる演奏でパレードが盛大に行われました。その後、木曾勤労者福祉センターにて式典がありました。

また大桑村以南の25kmについては、長野県による自然・景観・環境のアセスメントが実施され、調査終了までの2年間は着工できない見通しとなっています。

権兵衛トンネルが 貫通しました

木曾谷と伊那谷を結ぶ国道361号の権兵衛トンネルの工事は平成10年9月から着工され5年の歳月をかけてトンネル延長4467mを掘削し平成15年11月10日にトンネルの本坑が貫通しました。

12月6日に貫通式典が行われ無事に貫通できたことを祝いました。今後は舗装工事や電気・機械設備工事等の防災設備工事を進め平成17年度中の開通が望まれます。

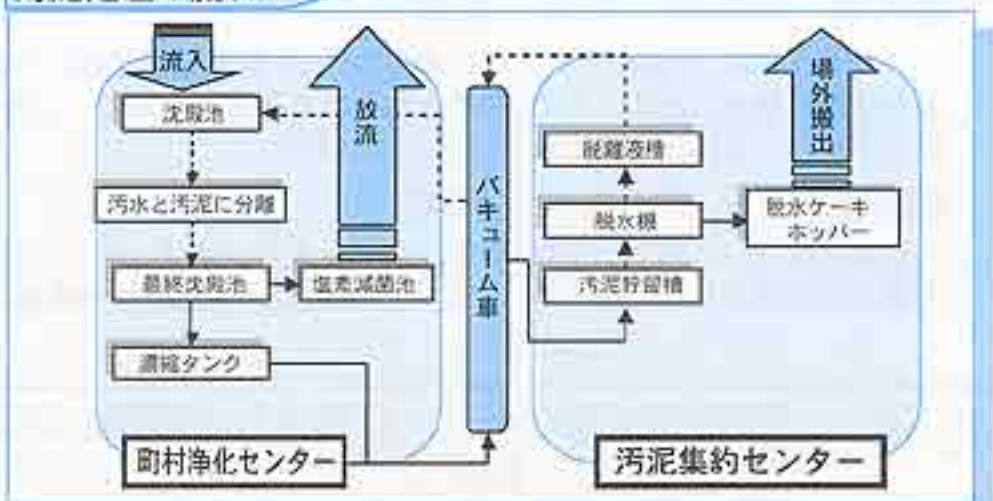
木曾広域連合汚泥集約センター完成!!

木曾郡の公共下水道汚泥を広域的に処理するために、平成14年度から工事が行われ、平成15年11月30日に完成しました。12月1日に稼働した施設では、当面、一日約50tの処理を行い将来的には一日、最大140tの処理が可能となっています。

施設は各町村の下水処理場に貯留された濃縮汚泥をバキューム車で運搬し、脱水処理を行い固形に近い状態として場外に搬出され、民間業者に引き取られます。脱離液に関してはバキューム車で各処理場へと戻っていく仕組みとなっています。

各町村の浄化センターで負担する汚泥処理経費を、共同で脱水処理することにより削減し、より効率的に運営するため、平成11年度から計画が進められていました。

汚泥処理の流れ



リサイクルに関する標語・提言が決定

木曽郡の循環型地域づくりを目指す取り組みの一環として、ゴミ問題を皆さんで考え、見つめ直すためにリサイクルに関する提言・標語を募集しました。総数189点ものご応募が寄せられ、循環型地域づくり委員による選考の結果、標語、提言のそれぞれの部門に各賞が贈られました。

小中学生の部 標語

(敬称略)



最優秀賞 日義小学校 3年 **小坂 恭子**
「たのしみだ なにかかわるの? リサイクル」

優秀賞	大桑小学校5年	高見澤	真 太	「捨てないで 木曽の自然が 泣いている」
優秀賞	楢川中学校1年	岩 井	亮 佑	「ちょっと待て それ本当に 使えない?」
入 選	日義小学校3年	齋 藤	惺 也	「たいせつに つかうきもちが リサイクル」
入 選	蘭小学校 6年	柏 木	すみれ	「未来へと 夢をつなごう リサイクル」
入 選	三岳中学校1年	鈴 木	雄 也	「捨てないで そのゴミ使える リサイクル」

小中学生の部 提言

実践活動部門

優秀賞 木祖小学校6年 ポランティア委員会 委員長 永瀬 のぞみ

ゴミを拾いながらの登校を全校生徒で行ないました。ゴミで一番多かったのはタバコの吸殻でした。タバコのゴミが多いということは環境のことを考えていない大人が多いという事です。小学1年まで参加して、このような行事を行なって意識を高めているのに、ひどいと思いました。

優秀賞 福島中学校

給食で生ゴミが毎日5kgくらい生じています。学校花壇の肥料として利用しましたが、堆肥化に時間がかかり不効率なので生徒たちの意見により役場に生ゴミ処理機を購入してもらいました。短時間の堆肥化が可能になり、化学の授業の教材としても役立っています。今後、余剰が出れば小学校、老人クラブ等への配布も考えていきます。

アイデア部門

優秀賞 楢川中学校1年 岩 井 亮 佑 毎月1日ごみゼロの日をつくりみんなで実践する
優秀賞 楢川中学校1年 宮 原 瑞 来 生ゴミ処理機を学校に導入する



一般の部 提言

実践活動部門

優秀賞 大桑村 早川 りえ子

我が家は、6人家族ですが燃えるゴミは2週に1袋程度しか出ません。資源回収やリサイクルステーションを利用し、生ゴミは自宅のコンポスト、衣類のうち綿でできているものは裁断してからディサービス等のウェス、お尻拭きなどに利用してもらい、できる限り再利用しています。少し手間はかかりますが一人一人が再利用、再使用すればごみの減量化は実現すると思います。

アイデア部門

優秀賞 日義村 中島 夏織

リサイクルは「子供から大人への教育」という発想転換が良い方向に向かうのではないのでしょうか。今以上に学校の授業や活動で取り上げることで、子供たちのいる家庭でも環境・リサイクルの話題が話し合われるようになり、それが更に隣近所へと、全体へと広がっていくと思います。

優秀賞 三岳村 鈴木 眞美

以前住んでいた市ではタウン誌に「ゆずります」「ゆずってください」の情報コーナーがあり、私もよく活用していました。木曽の広報誌でもこのようなコーナーを作れば、家電製品や農機具などが有効に甦ると思います。

本誌に関するご意見・ご感想をお気軽にお寄せください。

〒399-6101 長野県木曽郡日義村4898-37

TEL 0264-23-1050 FAX 0264-23-1052 E-mail soumu@kisoji.com

ホームページ http://www.kisoji.com/kisokoiki